



まつやま

市議会だより

2014 No. 304 平成26年2月15日

編集・発行／松山市議会 ホームページアドレス <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/kakukaichiran/shigikai/shigikai.html>



夏井いつきさんによる講演

(平成25年11月24日)

「親しまれる市議会をめざして ～今、議場が面白い～」が開催されました



俳句の作成に取り組む来場者のみなさん



「愛媛交響楽団」所属メンバーによるホルンアンサンブル

平成25年 第4回定例会

平成25年度12月補正予算総額 43億8219万3千円を 原案可決

平成25年第4回定例会を、11月29日から20日間にかけて開催し、12月18日に閉会しました。11月29日には、市長が補正予算案等の提案理由の説明を行い、12月5・6・9・10日には、16人の議員が一般質問を行い、提出された議案及び市政全般にわたり活発な議論を行いました。ついで、11・12・13日には6常任委員会を開催し、本会議で付託された議案や請願などについて、審査を行いました。その結果、議案49件（今議会受理分）はいずれも原案可決、可決あるいは同意し、議案1件（継続審査分）は継続審査の議決結果となりました。また、認定（継続審査分）2件のうち、第1号は認定、第2号の剰余金の処分については、原案可決、決算については認定、意見書案3件のうち1件は原案可決し2件は否決、決議案1件は原案可決となり、さらに請願3件については、いずれも継続審査の議決結果になりました。なお、「議案等議員別表決結果一覧表」は、67面に掲載しています。

平成25年第4回定例会を、11月29日から20日間にかけて開催し、12月18日に閉会しました。11月29日には、市長が補正予算案等の提案理由の説明を行い、12月5・6・9・10日には、16人の議員が一般質問を行い、提出された議案及び市政全般にわたり活発な議論を行いました。ついで、11・12・13日には6常任委員会を開催し、本会議で付託された議案や請願などについて、審査を行いました。その結果、議案49件（今議会受理分）はいずれも原案可決、可決あるいは同意し、議案1件（継続審査分）は継続審査の議決結果となりました。また、認定（継続審査分）2件のうち、第1号は認定、第2号の剰余金の処分については、原案可決、決算については認定、意見書案3件のうち1件は原案可決し2件は否決、決議案1件は原案可決となり、さらに請願3件については、いずれも継続審査の議決結果になりました。なお、「議案等議員別表決結果一覧表」は、67面に掲載しています。

可決された主な議案

予算

本会議の審議を経て原案可決された12月補正予算の主な事業は次のとおりです。

●東中校区小中連携校整備事業

小中連携のさらなる推進を図るため、隣接する東雲小学校と東中学校との小中併設型校舎を整備するにあたり、用地購入を行います。

●松山市教育センター設置事業

質の高い教育研究や教職員研修を行うため、本市独自の教育センターを開設するにあたり、用地購入を行います。

●がけ崩れ防災対策事業

がけ崩れによる災害を未然に防止し、地域住民の安全を確保するため、擁壁工事や法面工事を行います。

●道路橋梁災害復旧事業

平成25年6月の梅雨前線豪雨及び同年9月の台風17号豪雨により崩壊した道路路側の復旧を行います。

●道後温泉本館改築120周年記念事業

平成26年4月に道後温泉本館改築120年という節目を迎えることから、アートフェスティバル「道後オンセナート2014」を開催し、道後温泉の歴史的な重みや資源価値を広く市民や観光客へ周知していきます。

意見書

●青少年健全育成基本法の制定を求める意見書

次代を担う青少年を健全に育成していくことは、日本の将来の発展にとって不可欠の礎である。そこで青少年の健全育成に対する基本理念や方針等を明確にし、国や地方公共団体、事業者、保護者等の責務を明らかにした一貫性のある包括的、体系的な法整備を行い、特に家庭の価値を基本理念に据えた青少年健全育成基本法を制定されるよう国に強く要望する。

決議

●議長辞職勧告決議

議会の混乱、市民の不信増長に対する原因者としての責任を問う懲罰動議も可決されるなど議長に対する不信の状況は、なんら払拭されていない。また、レグ問題に対する知事発言や議員の逮捕等、本市議会にとって重大かつ深刻な事案が発生するなかで、議長の対応は危機感もスピード感も感じられず、議会基本条例の今任期中の成立も不可能となった今、続投する理由は皆無である。よって議長は議長の職を辞することを勧告する。

